





朱漆塗本小札啄木糸威胴丸具足



指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	しゅうるしぬりほんこざねたくぼくいとおどしどうまるぐそく
所在地	津山市山下 津山郷土博物館
指定年月日	令和4年3月11日
解説	津山藩松平家伝来の甲冑。江戸時代前期に作られたと考えられ、ヤクの毛を赤く染めた赤熊(しゃぐま)で表面を覆った変わり兜と、朱漆を塗った小札を絹の啄木組の組紐で威している。 関ヶ原の戦い直前に、結城秀康(ゆうきひでやす)が徳川家康(とくがわいえやす)から拝領した甲冑と、特徴がよく一致する。江戸時代前期まで遡ることのできる大名家伝来の甲冑として極めて貴重である。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩10分／ごんごバス「観光センター前」からすぐ
公開状況	非公開
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>駐車場 </p> <p>障害者用駐車場 </p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ </p> <p>障害者用トイレ </p> </div> </div>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	朱漆塗本小札啄木糸威胴丸具足
よみかた	しゅうるしぬりほんこざねたくぼくいとおどし どうまるぐそく
しょざいち (所在地)	津山市山下 津山郷土博物館
していつひ (指定した日)	令和4年3月11日
せつめい	江戸時代に津山をおさめた松平家に伝 わった甲冑です。江戸時代前期に作られ たと考えられ、ヤクの毛を赤く染めた赤熊 (しゃぐま)で表面を覆った変わり兜と、胴 (どう)や籠手(こて)などからできていま す。 関ヶ原の戦い(1600年)直前に、松平家の 先祖である結城秀康(ゆうきひでやす)が、 自分の父親である徳川家康(とくがわいえ やす)からもらった甲冑と、特徴がよく似て います。